

# 町医者だより

<発行・お問合せ先>

おおわだ内科呼吸器内科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

シャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポー改札口)

2分ミスタードーナツ並び

ヘアサロンAsh向かいビル2階

電話047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器内科

令和02年12月号

## コロナ感染リスクの高い場所

医療関係者向けのインターネットニュースに岩健(いわけん)こと岩田健太郎神戸大学病院感染症内科教授がそのブログで引用していた論文について今回は述べたいと思います。

### 飲酒を伴う飲食店が一番危険

Natureという超一流誌の2020年11月11日号に掲載された「Mobility network models of COVID-19 explain inequities and inform reopening」、日本語に訳すと「COVID-19のモバイルネットワークモデルによって明らかにされた不均等性とロックダウン後の再開について」と言ったタイトルの論文で、2020年4月、5月の米国の都市部の人の動きとコロナ感染がどこに行くにより多く罹患したかを分析しています。フルサービスを伴うレストランがダントツ1位で、2位 フィットネスクラブ、3位 カフェ&スナックバー、4位 ホテル&モーテル、5位 カジュアルレストラン、6位 教会、7位が医療機関です。8位 食料品店(日本のスーパーマーケット)、9位 中古品屋?、10位 ペットショップ、11位 スポーツ用品店、その後おもちゃ屋、ホームセンターと続きますが日本人が頻繁にはいかない場所が出てきて戸惑います、医療機関が高そうに見えますが、1位のフルサービスレストランの感染リスクはグラフから推定すると医療機関の35倍程度です。2位から4位はほぼ横並びですが、1位のフルサービスレストランの感染リスクはこれらの4倍です。5位のカジュアルレストランですら医療機関の4~5倍高リスクです。7位の医療機関は8位食料品店の感染リスクと重複するところがあるので何とも言えませんが厳しく見積もると1.5倍程度高いです。これらのデータはテレビを見てもわかるようにほとんどマスクをしないアメリカ人のデータですので、日本に当てはまるかわかりませんが、少なくともマスクを外すことが多い場所、特にフルサービスレストラン、つまり飲酒を伴う飲食が一番リスクが高いことが分かります。インターネットを検索するとこれとは別に「コロナが感染しやすい35の場所」というサイトが2020年12月15日にアップロードされていました(英語)。1位 調子悪い人と一緒にいる。2位 地元のバー(飲み屋)に行く。3位 友達とハグする。4位 結婚式に出席する。5位 オフィスで仕事する。6位 友人宅の室内で夕食をとる。7位 家族、友人と旅行に行く。8位 ビュッフで食事をとる。9位 レストランの室内で食事をとる。10位 室内でベイベーシャワー(出産前に妊婦を祝うパーティー)やブライダルシャワー(結婚が間近な女性をその友人や親類等が祝うパーティー)に参加する。11位 宗教施設に行く。12位 ホテルに泊まる。13位 ジムに行く。14位 スポーツイベントに参加する。15位 チームスポーツに参加する。16位 テーマパークに行く。17位 ネイルサロンに行く。18位 髪を切りに行く。19位 飛行機で移動する。20位 屋外でのイベントのホストをする。21位 小売店に行く。22位 図書館に行く。23位 美術館に行く。24位 医療機関の待合室で待つ。25位 スイミングに行く。26位 子供を連れて公園に行く。27位 学校に行く。28位 テイクアウトの列で待つ。29位 食料品店(日本でいうスーパー)をぶらつく。30位 ダウンタウンを歩きまわる。31位 ファーマーズマーケットで買い物する。32位 ガソリン入れる。33位 州立公園に行く。34位 ハイキングする。35位 散歩する、でした。マスクをするようになって医療機関は24位とかなり後退していますが、やっぱり人がマスクを外して集まる場面が相変わらず高リスクです。どうしてこういった具体的で説得力のある話が日本で出てこないのでしょうか。日本の医療レベルは大丈夫なんでしょうか。